

2019年度（公財）加納美術振興財団事業報告

1. 平成30年度より5年間の指定管理者の指名（2年目）を受け、安来市加納美術館の管理運営を行った。
2. 当館の収蔵する油彩画、墨彩画、書、陶磁器、日本画、彫像、水彩画等の美術作品および他施設からの借入による作品の展示及びそれらに関する学術講演会を実施した。
3. 展示および講演会などの宣伝、啓発広告は、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディア、SNS、安来市内行政告知放送、安来市報、電柱広告などにより行った。
4. ユネスコ「世界の記憶（地域登録）」（加納莞菴文書）については、再申請に向け、市教委を含め内容の検討作業を進めた。また、安来市文化財登録に向けても作業を進めており、いずれも継続中である。
5. 「加納莞菴平和国際交流基金」には、4件の応募があり3件（323.6千円）の助成を行った。（別紙1）
また、基金への寄付は、10組+館内募金箱により1,188千円あった。
年度末基金残高は、5,003.4千円となった。
6. 2019年度実施した主な企画展及びイベント（別紙2）
7. 2020年2月以降、全国的な新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベントをやむなく中止した。また、4月上旬から安来市との協議により休館とした。
8. 美術館の主要な取り組み→癒しとくつろぎのある美術館を目指して。
 - (a) 展示：入館者数は、14,041人、アウトリーチ（出前講演）は、3,930人、合計17,971人、入館料収入は、9,554.8千円（別紙3）だった。
2020年1月～4月初めの企画展では、冬季として最多入館者数を記録した。天候に恵まれ雪が少なかったこと、また、作家主宰の教室の受講生徒の来館が多かったことなどが功奏した。
また年間をとおし、レストランやまさやの特徴ある料理による集客力も寄与している。
10月1日から消費税が10%になったが、美術館は展示期間の都合により、11月9日から入館料を値上げし、HP、館内張り紙、パスポート会員へのお知らせ等により混乱がないよう対応した。
 - (b) 名碗を愉しむ会：年8回開催し、のべ103人の参加があった。リピーターも多く、中には全回参加の方があり定着している。日本の伝統文化である茶の湯に対する理解向上を推進させ、また美術館の理念等の理解を深める場としても機能している。
また、4月には松江・不昧流研究会の協力を得て、布部交流センターを会場に「春の茶会」を開催した。（参加者47人）
 - (c) 接遇：来館者への丁寧な説明、抹茶等のおもてなしが好評を得ている。

- (d) 館外からの協力：イベント、展示替え等へのべ45人（203時間）の地域ボランティアの協力を得た。（別紙4）
9. 理事会は4回実施した。（内2回は書面による）
10. 啓発・文化教育振興事業の推進
 - (a) アウトリーチ：多様な団体、学校、公民館などと連携してアウトリーチ（出前講座）を実施した。テーマは、芸術文化、郷土文化など。
名誉館長が22回で2,005人、館長が14回で1,565人（+12回360人 石正美術館講座）の参加者があった。（別紙5）
 - (b) 校外学習の受け入れ：市内中学校5校（3年生4校、2年生1校）の平和学習として、市教委手配による大型バスで7回にわたり343人の生徒・教師の来館があった。
小学校の平和学習として、赤江小学校（37人）、布部小学校（30人）の来館があった。
 - (c) 講演：各展示において、作品展示作家自身による講演、ギャラリートークは好評であった。
また学芸員による作品解説は、とりわけ安来との関わりなども取り上げ、来館者の理解を深めた。
 - (d) 安来市平和のつどい：当初から積極的に協力し、開催日前後1か月間は、平和をテーマとした展示を行っている。
第5回となった2019年度は、劇団・幻影舞台と布部小学校児童、地域住民の出演による演劇『奇跡の邂逅 加納莞菴物語』が上演され好評を得、加納莞菴への理解もより進んだ。
その後「2020年6月再演」に向け実行委員会が立ち上げられたが、新型コロナウイルス感染拡大により2021年へ延期となった。
 - (e) 他団体との連携：全国美術館会議（ワーキンググループとして小規模館部会）、しまねミュージアム協議会、安来市観光協会、安来市文化協会他、文化事業団体などと連携し地域文化の振興を推進した。
さぎの湯温泉、夢ランド、富田山荘、玉峰山荘などと連携し、各施設より紹介された91名の来館者（お客様から窓口で申告）があった。
11. 作品、建屋、設備機器の修復
作品クリーニングは1点で、費用は22千円だった。
建物修繕工事については、2020年度着工を目指し協議中。
12. 職員
理事長 加納二郎（学芸員）、常務理事 加納佳世子（名誉館長、学芸員）
常務理事 神 英雄（館長・2020年3月31日付で役職解任、学芸員）、
理事 千葉 潮（学芸員、2020年4月1日付で館長就任）
職員 小藤喜美江、北川晶子、横山あかね、安部美幸

別紙（１）

2019年度「加納莞蓄平和国際交流基金」助成金 事業報告

1) 経過

募集 2019年6月1日～9月30日

県内各首長、教育委員会宛、ちらしを配布した。

4件の応募があり、実行委員会にて3件の助成を決定した。

2) 助成先

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 益田市立高津中学校様 | 広島朝鮮初中高級学校との交流会 |
| ② 安来市立第二中学校様 | 中学生と外国人留学生との国際交流 |
| ③ 大田市代官山電子音楽倶楽部様 | 大田市国際交流ディスコ音楽祭 |

3) 助成金

- | | | |
|---------|----------|------------------|
| ① (益田) | 50,000円 | |
| ② (安来) | 23,500円 | |
| ③ (大田) | 250,093円 | |
| ④ 振込手数料 | 1,210円 | (A) 総額: 324,803円 |

- 4) 経費 (A) + (B) = 395,404円 + 振替手数料440円
= 395,844円を基金口座から財団口座へ振替処理した。

ちらし印刷、HPバナー制作、寄付者返礼品等	42,081円
封筒、宛先ラベル用紙、コピー代等	3,565円
送料(ちらし、返礼品)	18,475円
美術館内 パネル製作	6,480円
合 計 (B)	70,601円

2109年度事業報告(展覧会実績)

常設展示: 加納莞菴展

期 間 (開館日数)	タイトル名	入館者数(人) /入館料(千円)	開催テーマ等	期 間 中 の イ ベ ン ト
4/13～6/10 (52日間)	特別企画展 平和運動開始70年 画家 加納莞菴 大回顧展	1,906人 1,164.3千円 (経費) 1,244.6千円	莞菴の平和運動開始70年にあたり、初めての大回顧展。 恒久平和を求める活動が続けながら油彩画とともに墨彩画を制作した、その作品を通してその生涯を辿る展示。	4/13 オープニングセレモニー 4/14 春の茶会(47名) 4/21 講演会「モンテンルパを訪ねて」講師:加納佳世子(54名) 4/28、6/2 対話型鑑賞会 4/27～5/6 ギャラリートーク 5/3、4 安来でヨシタケコーヒーを愉しむ会 5/12 名碗を愉しむ会(12名) 5/19 講演会「加納莞菴の画業の変遷」講師:神 英雄(59名)
6/15～7/15 (27日間)	企画展 安来市文化協会創立30周年 記念 安来の美術をつくった人々	1,292人 458.3千円 (経費) 82.9千円	安来市文化協会創立30周年記念展として明治以降の安来ゆかりの作家の「仕事」を紹介する。	6/15、7/7 ギャラリートーク 6/16 名碗を愉しむ会(7名) 6/20 布部小1-2年生(8名) 6/26 赤江小6年生(37名) 7/1、3、4 安来一中3年生(147名)
7/20～9/16 (51日間)	特別展 安部朱美ふたたび —明日へのまなざし—	3,745人 2,563.5千円 (経費) 972.2千円	米子市在住の創作人形作家・安部朱美氏の2016年に続いて2回目の作品展。新作や山陰初公開のものを含む数多くの作品を公開。	7/20 オープニングセレモニー 7/21 名碗を愉しむ会(9名) 8/4、12、9/15 ギャラリートーク 8/15 莞菴忌(天候不良のため中止) 8/24 対話型鑑賞会 8/25 講演会「人形に思いを込めて」講師:安部朱美氏(90名) 9/1 講演会「甥が語る水木しげる」講師:飯塚藤兵衛氏(60名) 9/8 名碗を愉しむ会(14名) 会期中、さまざまなワークショップを開催し、来館者に楽しんでいただいた
9/21～11/4 (40日間)	企画展 葉 祥明 原画展 —平和への祈り—	3,510人 2,481.1千円 (経費) 2,895.5千円	絵本作家・画家・詩人である葉祥明氏の、平和をテーマにした絵本原画を中心とした展示。 TVコマーシャルの効果もあり物販も好評。絵本・カレンダー等多く販売された。(山佐屋売店)	9/21 平和のつどい(ナイトミュージアム開催、別館で「語り伝えたい戦争とくらし展」～9/27) 9/25 広瀬中3年生(62名) 10/1 布部小児童茶室体験(3年生以上17名+教員4名) 10/5、6、11/4 ギャラリートーク&サイン会(作家来館) 10/20 名碗を愉しむ会(22名) 11/3 講演会「絵本を通して心の平和を」講師:葉祥明氏(134名) (山佐屋) 関連グッズ販売:4,446千円
11/9～12/23 (39日間)	特別展 加納溥基コレクション 色絵茶碗に魅せられて 釉薬の美・絵付の美	751人 457.6千円 (経費) 359.4千円	加納溥基コレクションの中から備前焼以外のやきもの、華やかな色絵茶碗のコレクションを中心に展示。	11/17 名碗を愉しむ会(13名) 11/20 安来二中(34名) 11/21 伯太中(37名)、安来三中(63名) 11/23、12/8 ギャラリートーク 11/24 トークイベント(座談会)7名(お話:岡南ギャラリー重田雅彦氏、重田直子氏、聞き手:千葉潮) 12/15 ワークショップ「陶器の絵付けをやってみよう」(11名) 指導:陶芸家・三島静夫氏
1/11～4/6 (75日間)	企画展 内藤和美 仲間と夢見るキルトの世界	3,315人 2,532.8千円 (経費) 1,159.9千円	現在、多くの仲間と楽しみながら古布で作るキルトの普及に励む、安来市在住のキルト作家内藤和美氏の作品。 地元作家のけん引力も大きく、予想をはるかに上回る来館者数を記録した。	1/11 ギャラリートーク 2/2 ワークショップ「お洒落なポーチづくり」(31名) (山佐屋) 関連グッズ販売:638千円 *新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったイベント ギャラリートーク(2/23、3/1、3/8、4/5) ワークショップ(3/8) 名碗を愉しむ会(3/15) 楽しく美しい方言の世界(3/22)

別紙(3)

入館者数及び入館料収入実績書 2019年度

	入館料収入 (円)	入館者数 (人)	入館内訳											イベント内容
			一般	学生	団体	身障者	他割引	他割引 (GG)	DM割	招待券	イベント	パス ポート	小人	
4月	398,400	723	211	6	24	34	136	0	12	167	54	71	8	4/21名誉館長講演会
5月	657,500	1,022	457	2	37	77	151	3	12	161	38	62	22	5/3ヨシタケコーヒー(8) 5/4ヨシタケコーヒー(3) 5/19(神)講演会(27)
6月	404,700	689	270	1	66	24	78	0	6	141	0	46	57	
7月	574,200	1,073	317	1	159	49	109	0	5	153	60	67	153	7/21オープニングセレモニー
8月	1,143,300	1,666	775	13	37	85	332	0	14	145	90	84	91	8/25講演会
9月	1,395,000	2,139	848	6	147	140	546	10	13	162	60	87	120	9/1講演会
10月	1,644,600	2,016	1072	19	168	105	399	0	12	96	0	97	48	
11月	863,600	1,441	372	6	25	57	465	0	15	72	141	76	212	11/3講演会&サイン会(134) 11/24トークショー(7)
12月	183,600	267	78	0	0	10	63	0	2	54	11	48	1	12/15絵付け教室
1月	660,800	889	106	0	20	54	270	0	280	95	0	44	20	
2月	925,100	1,212	190	2	20	89	468	0	232	122	30	51	8	2/2ワークショップ(30)
3月	704,950	904	145	3	43	51	323	0	191	87	0	39	22	
合計	9,555,750	14,041	4,841	59	746	775	3,340	13	794	1,455	484	772	762	

別紙(4)

2019年度 安来市加納美術館 地域ボランティア 応援実績

応援内容	のべ時間	のべ人数
イベント	102	18
展示関係	101	27
合計	203	45

* 名碗会

* 市教委からの応援舎

* その他、各講演会時、駐車場整理、会場片付け等にご協力いただきました。

●その他

お抹茶接待菓子皿	6,004	(累計:12,388枚)

2019年度 加納佳世子 講演会一覧

NO	月日	主催者	会場	人数
1	4.21	加納美術館	布部交流センター	80
2	5.15	米子退職者公務員連盟	米子コンベンションホール	60
3	5.22	安来市教育委員会	布部交流センター	30
4	6.9	島根県母親大会	江津市地場産センター	200
5	6.29	伯耆町教育委員会	伯耆町農村環境改善セン	80
6	9.13	本庄地域人権教育推進協議会	布部交流センター	20
7	9.25	南部町教育委員会	プラザ西伯	80
8	10.13	三次市徳市人権推進協議会	三次市徳市公民館	80
9	10.17	松江市大谷小学校	松江市大谷小学校	40
10	10.23	日吉津かがやき学級	ヴェルステひえづ	80
11	10.25	島根県高等学校PTA連合会	松江サンラポーむらくも	80
12	11.1	大島工務所	安来学習訓練センター	120
13	11.2	島根県立安来高等学校	安来高校体育館	420
14	11.2	島根県教職員組合	出雲ロイヤルホテル	50
15	11.12	安来市市民課	和田公民館	30
16	11.14	米子市彦名公民館	米子市彦名公民館	50
17	11.26	広瀬小学校	広瀬小学校	40
18	12.8	第31回戦争体験を語り継ぐ会	松江県民会館	200
19	1.25	雲南市斐伊地域づくり協議会 生涯学習推進委員会	雲南市斐伊交流セン ター	50
20	2.16	安部朱美さん文化功労賞受賞 祝賀会	米子全日空ホテル	150
21	2.22	比田人権推進協議会	比田交流センター	45
22	2.25	浄土真宗山陰教区研修会	鳥取市ホテルモナーク	20
合計人数				2,005

神 英雄・講演会(館外)

NO	月日	主催者	会場	人数
1	4/2	境港ライオンズクラブ	炯国(あぐに)	50
2	5/16	松江市倫理法人会	ホテル一畑	30
3	6/14	竹中工務店	八重垣ホール	200
4	7/20	島根電工	島根電工本社	300
5	8/1	松江市倫理法人会	ホテル一畑	35
6	8/8	松源寺	松源寺	300
7	9/29	和鋼博物館	和鋼博物館	70
8	10/11	原井小学校	原井小学校	60
9	12/6	乃木公民館	乃木公民館	100
10	12/20	青陵中学校	青陵中学校	80
11	12/20	三隅中学校	三隅中学校	60
12	1/26	小国まめな館	小国自治会(浜田)	150
13	2/6	在松江鳥取県人会	サンラポーむらくも	100
14	2/12	安来市子ども未来課	子ども未来課会議室	30
15				
				1,565

このほか、毎月1回(年間12回)浜田市石正美術館で『加納莞薔の画業』をテーマに講義。各回受講生20~30名。